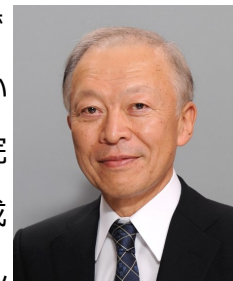




新年挨拶 病院長 新井 一成

明けましておめでとうございます。昭和大学ならびに当院職員の皆様にとりまして佳い年でありますようお願い申し上げます。開院から2回目のお正月を迎え、3年生になろうとしています。多職種によるチーム医療も円滑に実践され、病院の理念を実現しつつあります。病院の機能をより効率よく利用する工夫を全員一丸となって取り組み、限りある器から最大の成果をもたらす医療を実践したいと考えています。皆様のより一層のご理解とご協力をお願いして年頭の挨拶といたします。



看護部長 磯川 悦子

新年あけましておめでとうございます。昨年の看護部は、新人看護職員55名を迎え人材育成を強化した一年でした。病院の理念である「まごころの医療」をもとに、看護部では患者・家族が安心できる医療サービスを提供することを使命として努力してまいりました。まずはこうして無事に新しい年を迎えることができたことを感謝し、皆さまに心からお礼を申し上げます。今年は、さらに患者満足と職員満足が向上できる病院づくりをめざし、チーム医療を推進できるように取り組んで参りたいと思います。みなさまに更なるご協力をお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



第21号のトピックス

- 新年挨拶 病院長
看護部長・事務部長
- 江東区立中学生職場体験
- 人工呼吸器勉強会
- クリスマスクンサート

事務部長 阿久津 直利

新年あけましておめでとうございます。私たちの江東豊洲病院は平成26年3月末の開院以来2度目の新年を迎えました。わたくし自身は昨年4月に当職に着任いたしましたので初めてのお正月を迎えることとなります。着任以来、幾多の重要な課題が行く先を塞いでおりまして、暗愚魯鈍である私には荷が重過ぎる事案の連続でした。許可病床300床の残り分である114床の許可が頂けないなか、一部特殊病棟の一般病床への付け替えなどを経て、164床であった一般病床を205床までに増床することが出来ました。これも一重に皆様の多大なるご協力の賜物であると感謝しております。



安定的な経営基盤の構築は勿論のこと、土日週日化という新たな医療供給体制の構築は本邦における大学病院のパイオニアとしての責務があります。

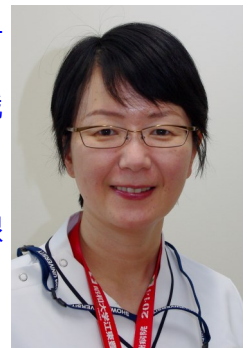
これらの難題を克服するには医師をはじめ看護部など全病院のスタッフが一丸となり、お互いを信じ合いチーム医療を実践していくことが肝要であります。

幸いにして当院のスタッフは優しさややる気満々な気概を兼ね備えております。新年を迎え心新たに一致団結してこの難局に立ち向かい、新たな医療文化の構築に向け着実に進化するものと確信しております。事務職員一同も医療人としての自覚と誇りを持ち皆様のご協力を賜りながら邁進していく所存です。

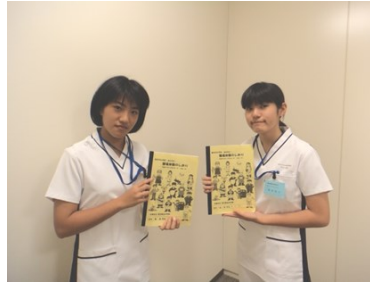
本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

江東区立中学生職場体験学習 看護部 中村 綾子

10月6日から8日に、深川第五中学校の2年生2名と、11月25日から27日に、有明中学校の2年生3名が当院で職場体験をしました。医療職に興味を持ち、様々な職場の中から当院での体験を希望したとのこと、ユニフォームを嬉しそうに着用する姿が印象的でした。それぞれ一般病棟で2日間の看護体験をし、残り1日は薬剤部、放射線室、臨床工学室などを見学しました。



受け入れ当初は、「近隣の中学生の職場体験を受け入れることで、未来の医療人の育成に少しでも役立てれば、地域貢献にもつながれば。」と思っておりました。そのような中で、一般病棟での看護体験後には「2日間病棟に行き同じ患者さんのケアを見学したことで、患者さんの状態が回復しているのが分かりました。」という声や、「ますます看護師になりたいくなりました。」「がんばって医師を目指します。」という声が聞かれ、私たちが中学生の皆さんからたくさんの力を貰うことになりました。



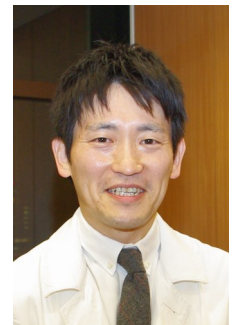
深川第五中学校



有明中学校

第1回人工呼吸器勉強会を開催して 土屋 裕

平成27年12月14日に念願の第一回人工呼吸器勉強会を開催させていただきました。その理由は、当院は呼吸器専門医が少ないため、①実臨床の場で酸素投与と人工呼吸器についてスタッフと知識を共有できる機会が少ないこと、②他科の医師やコメディカルに負担をかけてしまっておりなんとか知識で還元できたら、と思ったからです。



第1回 人工呼吸器勉強会
 ～経鼻酸素投与、ネーザルハイフローからBiPAPまで～
 対象：人工呼吸器に関わる医師、看護師

内容

1. 呼吸不全について
2. 酸素投与とBiPAPの適応（医師の立場から）
3. 酸素投与とBiPAPの注意点（看護師の立場から）
4. BiPAPの設定と管理（CEの立場から）
5. 実際にBiPAPを自分につけてみよう

日時：平成27年12月14日(月)
 午後5時30分～7時30分
場所：9階講堂 連絡先：呼吸器内科 土屋(6501)

記念すべき初回は、ICU師長の百石さん、臨床工学士の中林さんにも講義を協力してもらい、経鼻酸素投与からネーザルハイフロー、非侵襲的陽圧換気と範囲を限定し、機械を自分に取り付けてもらい何が重要か、どれだけ苦しいものなのかを実体験してもらいました。

看護師をはじめ薬剤師、臨床工学士、理学療法士、研修医、上級医など総勢90名に参加していただき、スタッフのモチベーションの高さに当院の未来は明るいと実感しました。これからも定期的

に開催させていただこうと思います。よろしくお願ひします。



♪クリスマスコンサートを開催しました♪

昭和大学江東豊洲病院では、患者さんや地域の方々との交流を図るために『院内コンサート』を定期的を開催しており、12月19日（土）15時から、1階ロビーでクリスマスコンサートが行われました。

今回のコンサートは学生時代から友人だった高橋成太さんと高橋真澄さん、加藤千鶴さんらのボランティアコンサートグループです。

当日は良い天気恵まれ、入院患者（ご家族）さん、外来患者さん、近隣のマンションの住民の方々等100名の聴衆の中、ピアノデュオではカンタータ、リベルタンゴ、美女と野獣、クリスマスメドレー等が演奏され、ボーカルではザ・クリスマスソング、ホワイトクリスマス、アメイジング グレース、きよしこの夜等が披露されました。

観覧者のご意見をご紹介します。（アンケートより）本日、主人が手術の日で無事終わった直後に、このような心温まるコンサートに参加できて涙がとまりませんでした。本当に有難うございました。

高橋成太さん、高橋真澄さん、加藤千鶴さん、素晴らしいコンサート有難うございました。



編集後記 光山 晋一

明けましておめでとうございます。早いもので当院が開院して2回目の新年を迎えることになりました。循環器に関わる仕事をしている私にとって、一気に寒さが増すこの時期は患者さんが増える季節でもあり、年末年始といってもあまりゆっくりはできないのですが、何となく気の引き締まる特別な時期であることに変わりありません。皆さんにとって2016年が素敵な一年になりますように！



昭和大学
SHOWA UNIVERSITY

昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲5-1-38

TEL03-6204-6000（代表）

発行責任者：新井一成 編集責任者：長谷川真



Showa University Koto Toyosu Hospital